

# 滋賀県 景況調査結果報告書

令和6年度 第4四半期  
(令和7年1～3月期)

## 目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和7年1～3月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査結果報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵便、e-mail

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	413	10	5	5	433
(割合)	95.4%	2.3%	1.2%	1.2%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和7年1月15日～2月12日

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

回答企業数:433社(回答率57.7%)

※大企業30社、中小企業403社(うち小規模事業者143社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	11	3	0	5	11	30
中小企業・ 小規模事業者	136	84	31	53	99	403
合計	147	87	31	58	110	433
(業種別比率)	33.9%	20.1%	7.2%	13.4%	25.4%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	16	13	5	14	22	70
南部地域	35	12	5	14	21	87
甲賀地域	22	10	2	5	15	54
東近江地域	27	14	7	6	12	66
湖東地域	14	9	6	9	20	58
湖北地域	13	15	5	8	11	52
高島地域	20	14	1	2	9	46
合計	147	87	31	58	110	433

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲11.8と、前期と比べて2.1ポイント悪化した。  
来期は▲16.2と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では13.3とプラス幅が拡大し、中小企業(小規模事業者を含む)では▲13.6とマイナス幅が拡大した。  
来期は、大企業が6.7とプラス幅が縮小し、中小企業は▲17.9とマイナス幅が拡大する見通しである。
- **【業種別】** 前期と比べて製造業、卸売業、サービス業は悪化した一方、建設業、小売業は改善した。  
来期は、製造業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大する一方、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小するなど、業種によって見通しの違いがみられる。

※本調査でのDI(ディフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和7年1~3月期、来期:令和7年4~6月期

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

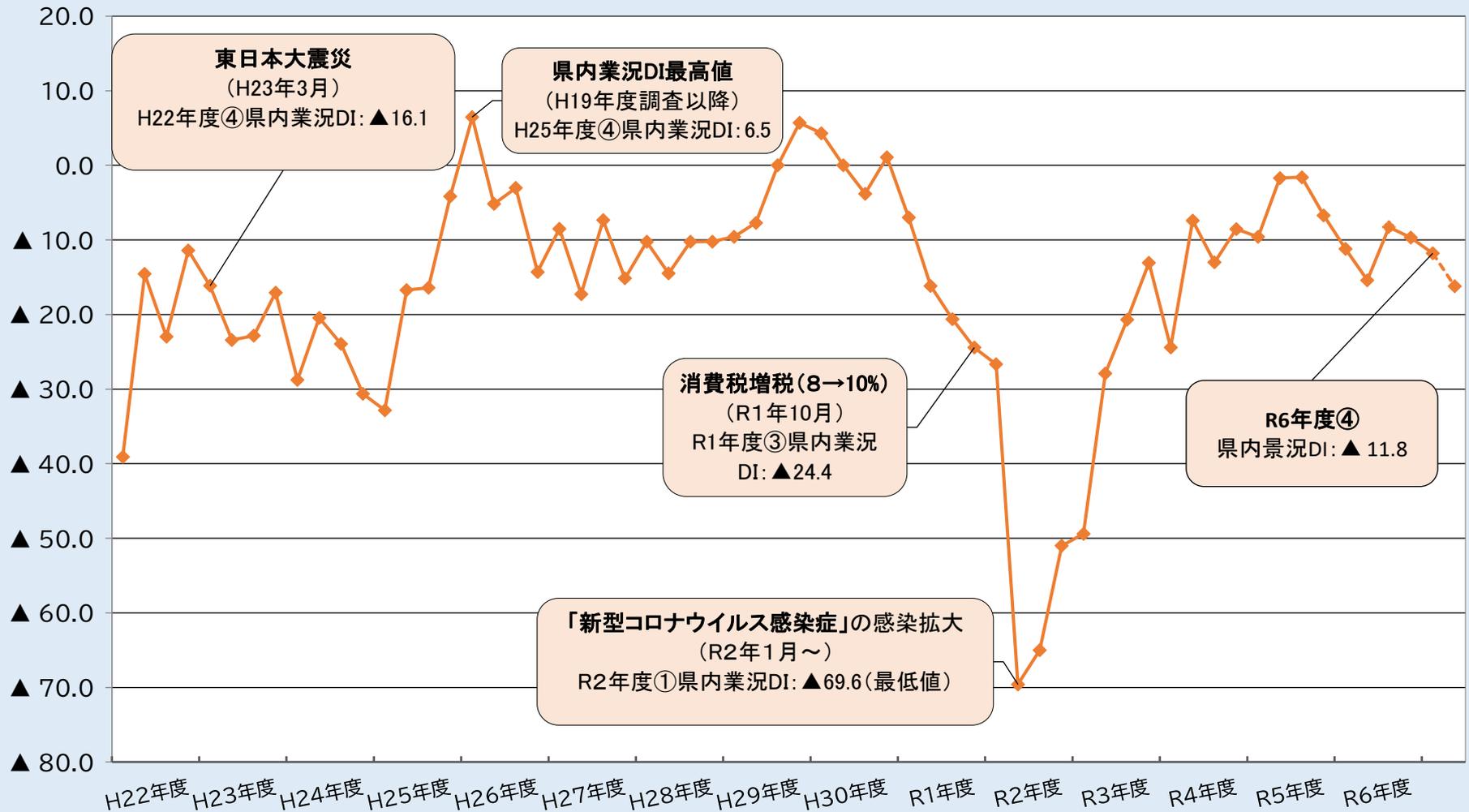
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 業況DIの推移

(平成21年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



## 1. 調査概要

## 2. 全体

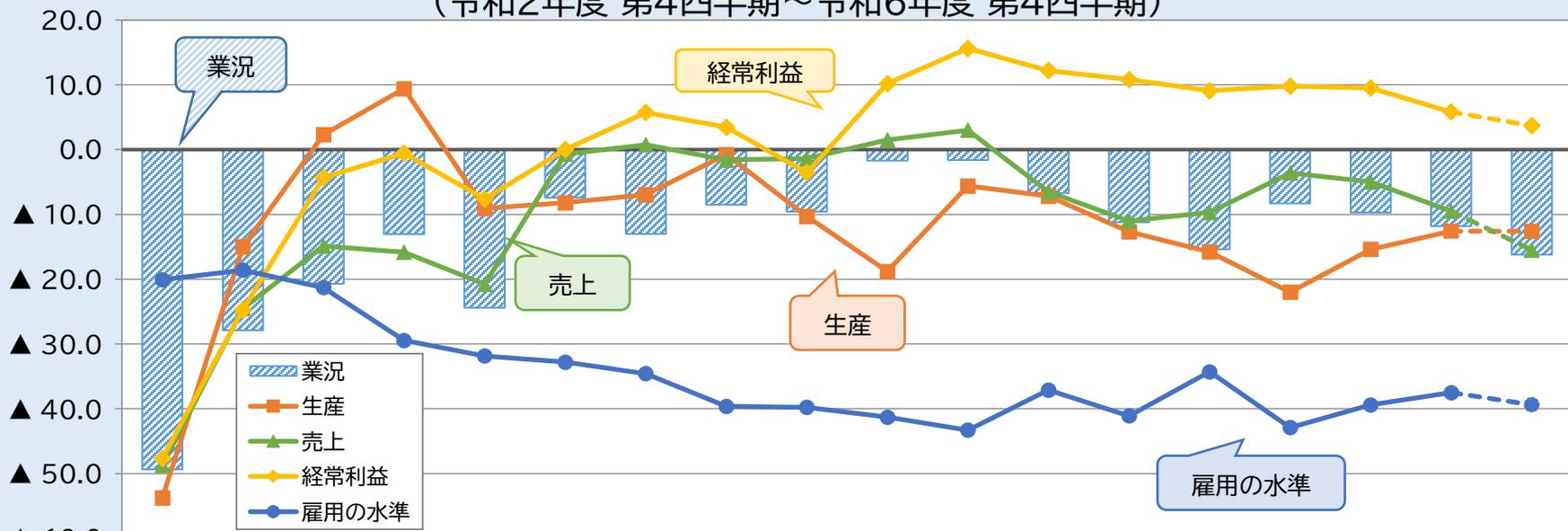
## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 各種DIの推移

(令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



	第4 R2年度	第1 R3 (2021) 年度	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R7年度
	R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度					
業況	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 16.2
生産	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 12.6
売上	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	▲ 1.6	▲ 1.4	1.5	3.0	▲ 6.5	▲ 11.0	▲ 9.7	▲ 3.6	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 15.5
経常利益	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5	▲ 3.6	10.2	15.6	12.2	10.8	9.1	9.8	9.5	5.8	3.7
雇用の水準	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 39.6	▲ 39.8	▲ 41.3	▲ 43.3	▲ 37.1	▲ 41.1	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 39.4	▲ 37.5	▲ 39.4

【今期(令和7年1～3月期)の景況】※前年同時期との比較

業況DI、売上DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、経常利益DIはプラス幅が縮小した。

雇用の水準DIはマイナス幅が縮小し、不足感が弱まった。

【来期(令和7年4～6月期)の見通し】

業況DI、売上DIはマイナス幅が拡大、生産DIは同水準で推移、経常利益DIはプラス幅が縮小する見通し。

雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

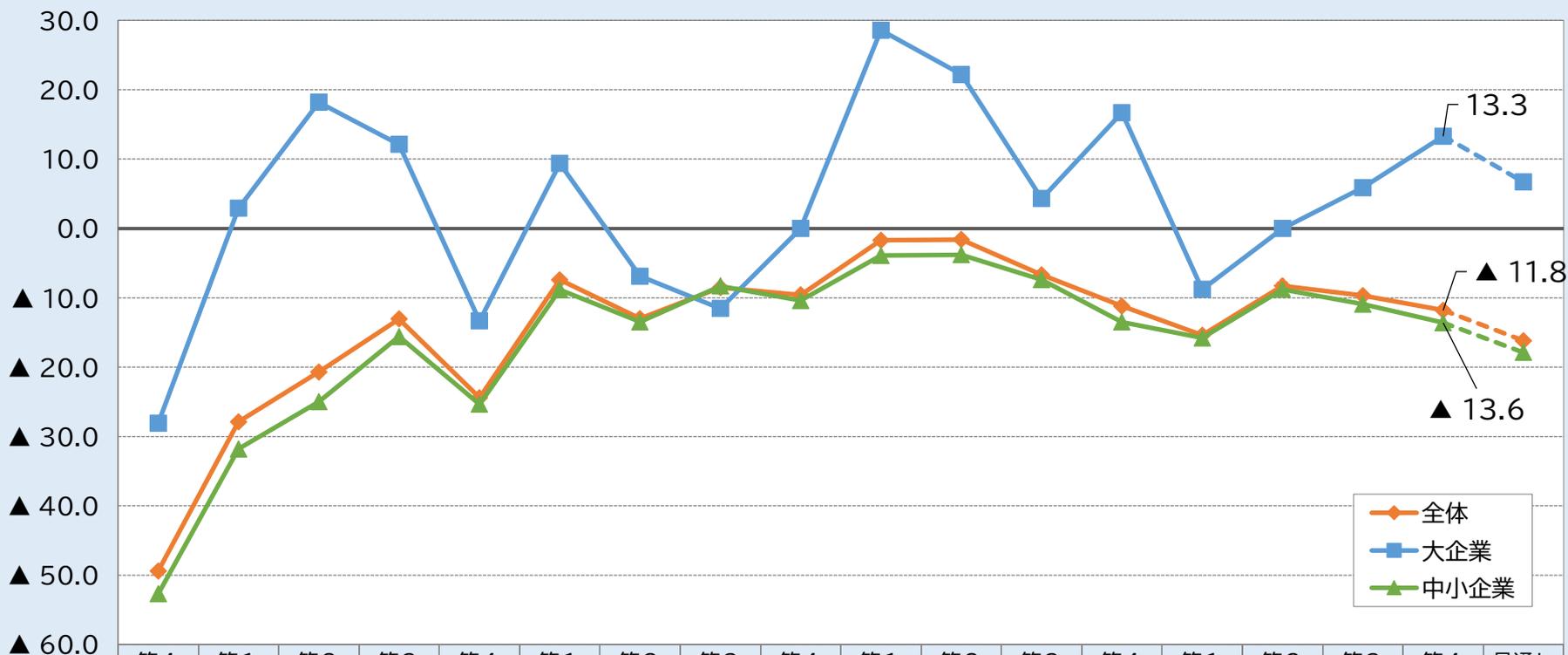
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【企業規模別】業況DIの推移 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



	第4 R2年度	第1 R3(2021)年度	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R7年度
	R3(2021)年度				R4(2022)年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度					
全体	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 9.6	▲ 1.7	▲ 1.6	▲ 6.7	▲ 11.2	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 11.8	▲ 16.2
大企業	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲ 8.8	0.0	5.9	13.3	6.7
中小企業	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 25.4	▲ 8.8	▲ 13.5	▲ 8.3	▲ 10.4	▲ 3.9	▲ 3.8	▲ 7.4	▲ 13.5	▲ 15.8	▲ 8.8	▲ 10.9	▲ 13.6	▲ 17.9

【大企業】	今期: +13.3とプラス幅が拡大した。	来期: +6.7とプラス幅が縮小する見通し。
【中小企業】	今期: ▲13.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.9とマイナス幅が拡大する見通し。

## 1. 調査概要

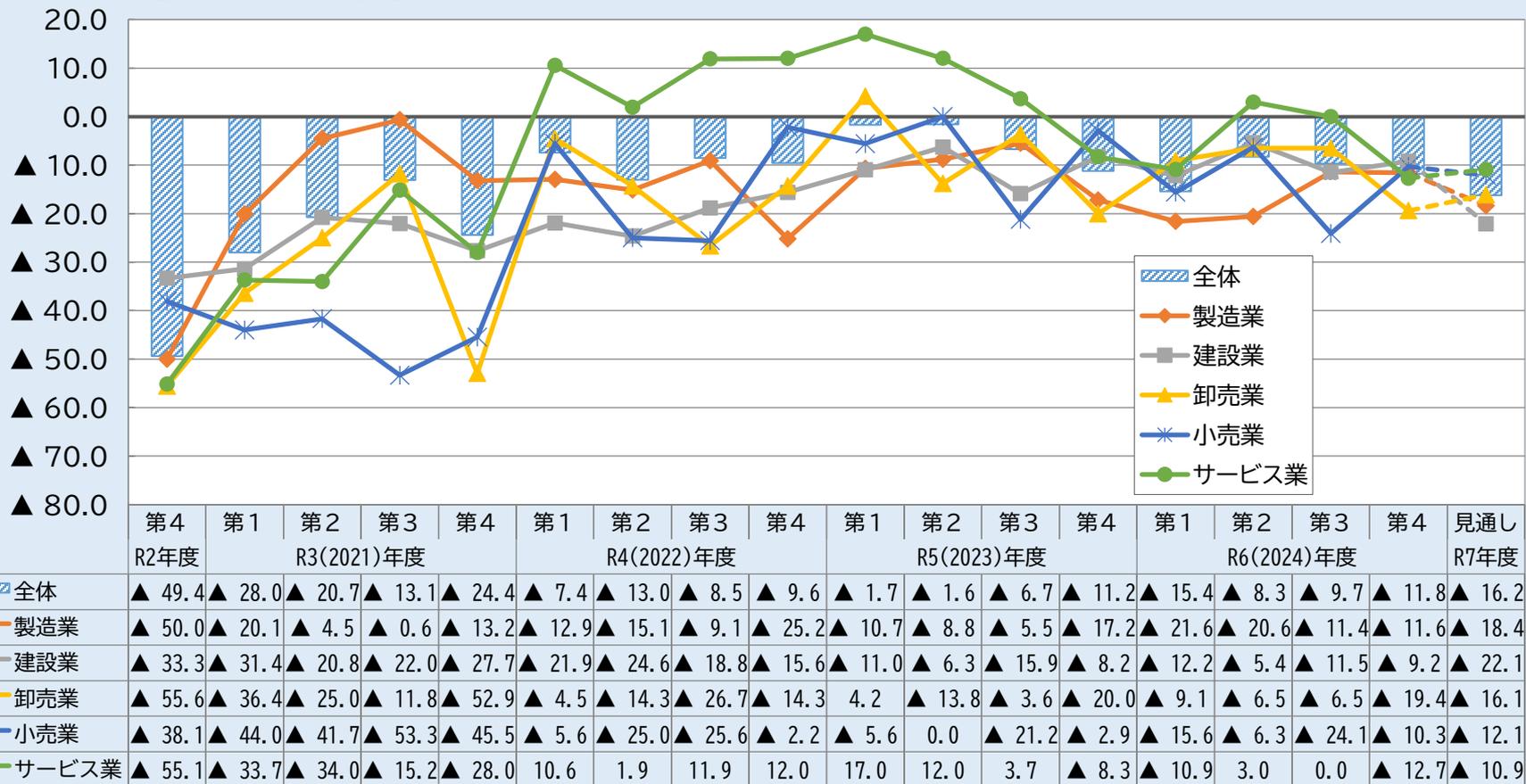
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【企業業種別】業況DIの推移 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)



【製造業】	今期: ▲11.6とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲18.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【建設業】	今期: ▲9.2とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲22.1とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲19.4とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲16.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【小売業】	今期: ▲10.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期: ▲12.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【サービス業】	今期: ▲12.7とマイナスに転じた。	来期: ▲10.9とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要

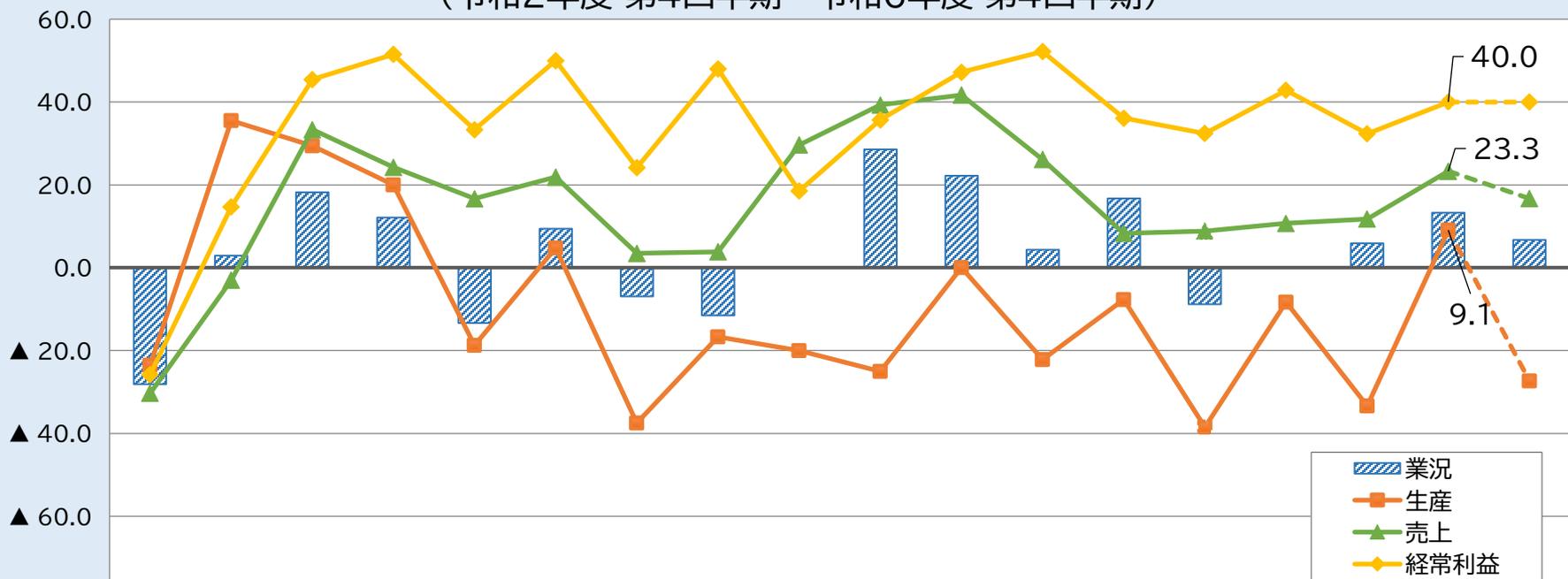
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

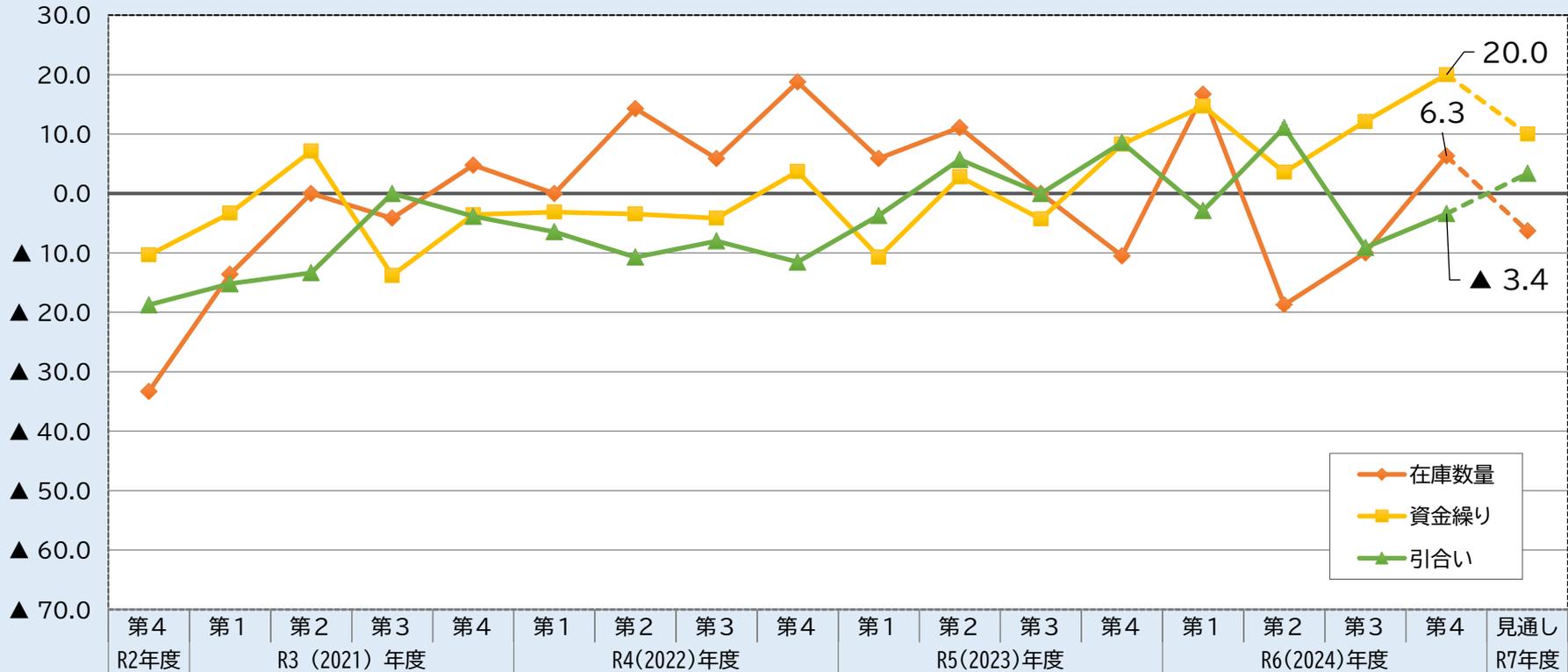
## 【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



	第4 R2年度	第1 R3 (2021) 年度	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R7年度
	R3 (2021) 年度				R4(2022)年度				R5(2023)年度				R6(2024)年度					
業況	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 11.5	0.0	28.6	22.2	4.3	16.7	▲ 8.8	0.0	5.9	13.3	6.7
生産	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 25.0	0.0	▲ 22.2	▲ 7.7	▲ 38.5	▲ 8.3	▲ 33.3	9.1	▲ 27.3
売上	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	3.8	29.6	39.3	41.7	26.1	8.3	8.8	10.7	11.8	23.3	16.7
経常利益	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	48.0	18.5	35.7	47.2	52.2	36.1	32.4	42.9	32.4	40.0	40.0

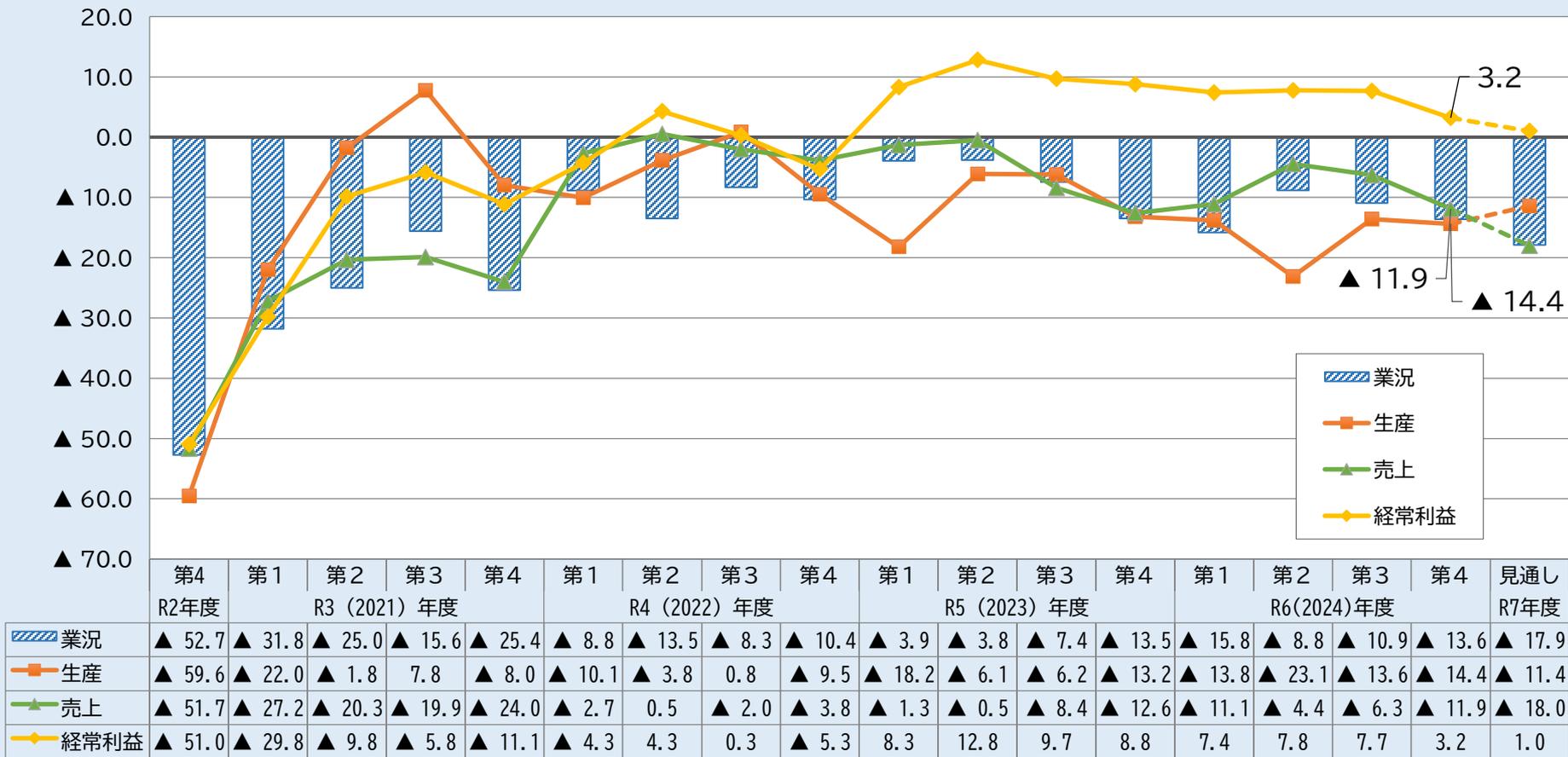
【業況】	今期: +13.3とプラス幅が拡大した。	来期: +6.7とプラス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: +9.1とプラスに転じた。	来期: ▲27.3とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期: +23.3とプラス幅が大幅に拡大した。	来期: +16.7とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +40.0とプラス幅が拡大した。	来期: +40.0と同水準の見通し。

## 【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



【在庫数量】	今期: +6.3とプラスに転じた。	来期: ▲6.3とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: +20.0とプラス幅が拡大した。	来期: +10.0とプラス幅が大幅に縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲3.4とマイナス幅が縮小した。	来期: +3.4とプラスに転じる見通し。

## 【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



【業況】	今期: ▲13.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲17.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲14.4とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲11.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲11.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲18.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +3.2とプラス幅が縮小した。	来期: +1.0とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要

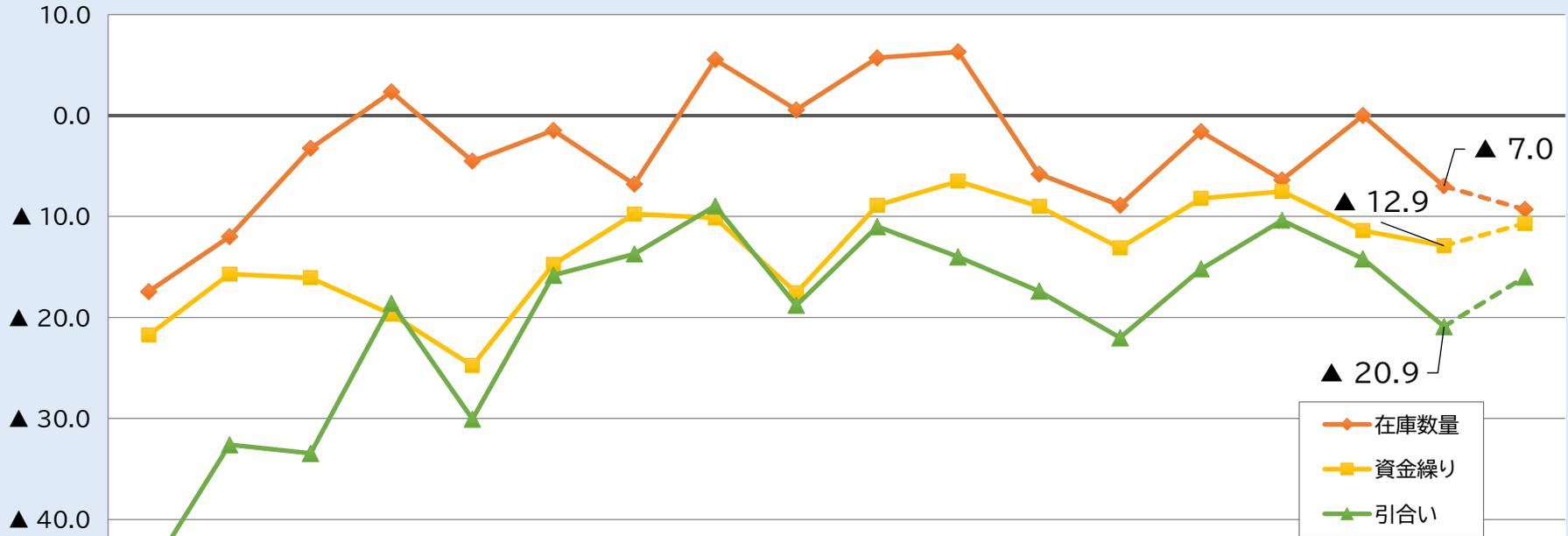
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)

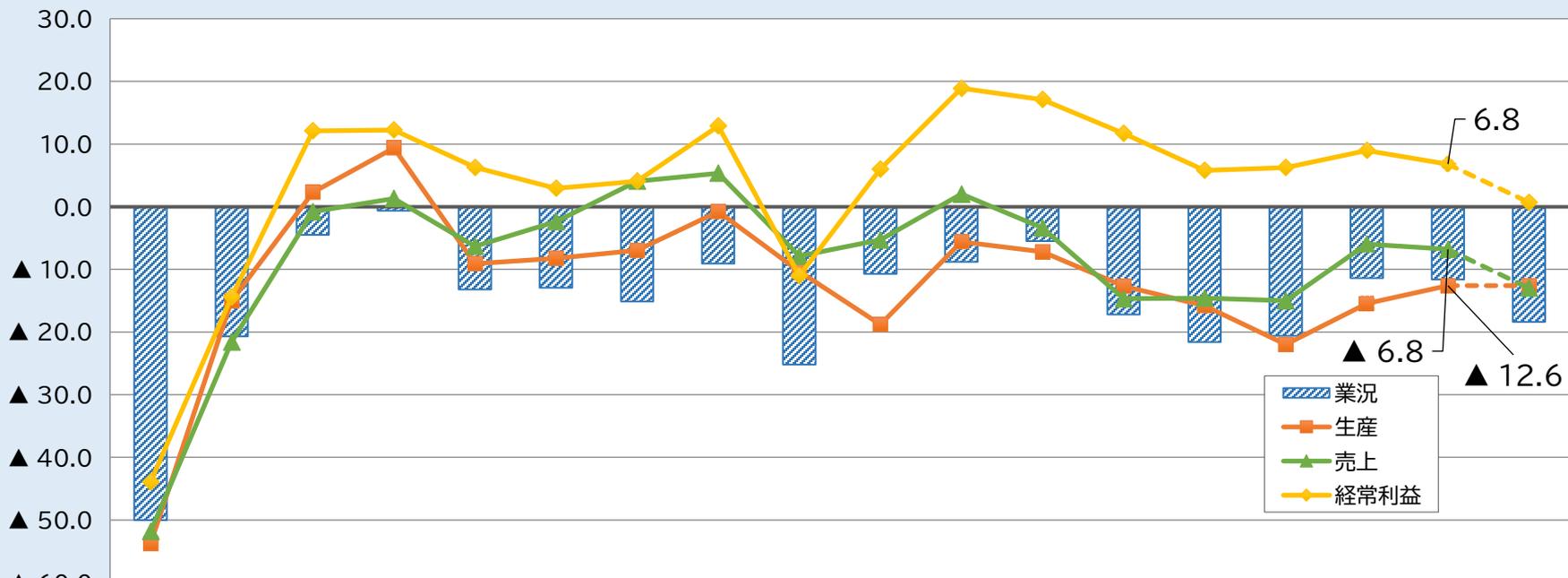


	第4 R2年度	第1 R3 (2021) 年度	第2	第3	第4	第1 R4 (2022) 年度	第2	第3	第4	第1 R5 (2023) 年度	第2	第3	第4	第1 R6 (2024) 年度	第2	第3	第4	見通し R7年度
在庫数量	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 3.2	2.3	▲ 4.5	▲ 1.5	▲ 6.8	5.5	0.6	5.7	6.3	▲ 5.8	▲ 8.9	▲ 1.6	▲ 6.4	0.0	▲ 7.0	▲ 9.3
資金繰り	▲ 21.7	▲ 15.7	▲ 16.1	▲ 19.7	▲ 24.8	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 10.1	▲ 17.6	▲ 8.9	▲ 6.5	▲ 9.0	▲ 13.1	▲ 8.2	▲ 7.5	▲ 11.4	▲ 12.9	▲ 10.7
引合い	▲ 45.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 18.6	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 9.0	▲ 18.8	▲ 11.0	▲ 14.0	▲ 17.4	▲ 22.0	▲ 15.2	▲ 10.4	▲ 14.2	▲ 20.9	▲ 16.0

【在庫数量】	今期: ▲7.0とマイナスに転じた。	来期: ▲9.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲12.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲20.9とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲16.0とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)

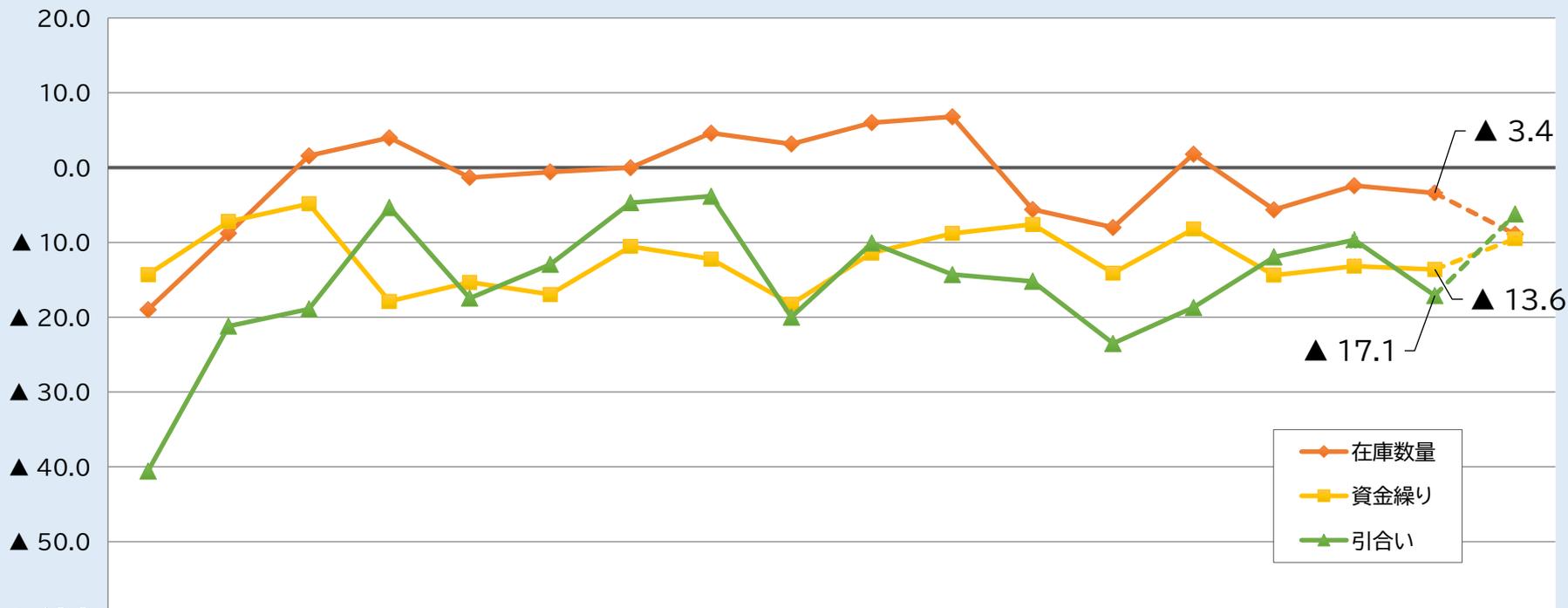


	第4 R2年度	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R7年度
	R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度					
業況	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 9.1	▲ 25.2	▲ 10.7	▲ 8.8	▲ 5.5	▲ 17.2	▲ 21.6	▲ 20.6	▲ 11.4	▲ 11.6	▲ 18.4
生産	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 10.3	▲ 18.8	▲ 5.6	▲ 7.2	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.0	▲ 15.4	▲ 12.6	▲ 12.6
売上	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	5.3	▲ 7.9	▲ 5.3	2.0	▲ 3.4	▲ 14.7	▲ 14.6	▲ 15.0	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 13.0
経常利益	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	12.9	▲ 11.0	6.0	18.9	17.1	11.7	5.8	6.3	9.0	6.8	0.7

【業況】	今期: ▲11.6とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲18.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲12.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲12.6と同水準の見通し。
【売上】	今期: ▲6.8とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲13.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +6.8とプラス幅が縮小した。	来期: +0.7とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

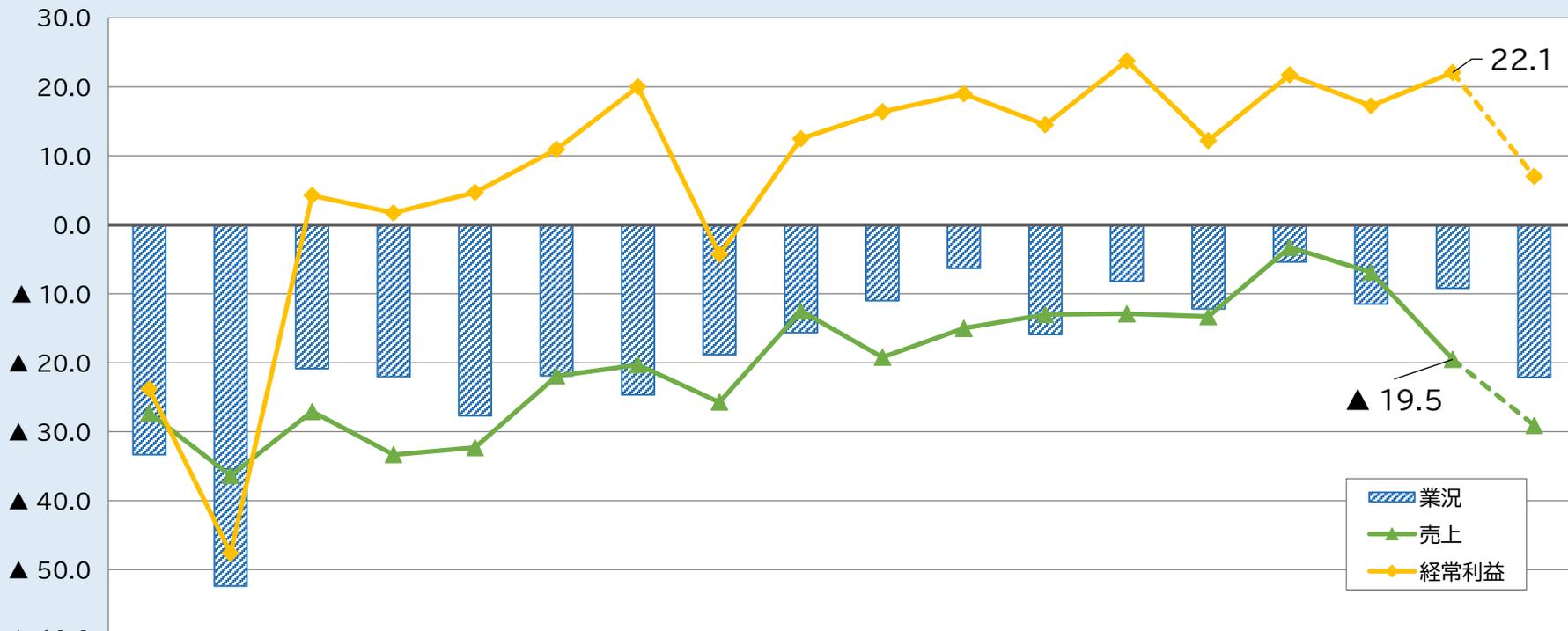
## 【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



	第4 R2年度	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し R7年度
	R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6 (2024) 年度					
在庫数量	▲ 19.0	▲ 8.8	▲ 1.6	▲ 4.0	▲ 1.3	▲ 0.6	0.0	▲ 4.6	▲ 3.1	▲ 6.0	▲ 6.8	▲ 5.6	▲ 8.0	▲ 1.8	▲ 5.6	▲ 2.4	▲ 3.4	▲ 8.9
資金繰り	▲ 14.3	▲ 7.2	▲ 4.8	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 10.5	▲ 12.2	▲ 18.3	▲ 11.4	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 14.4	▲ 13.2	▲ 13.6	▲ 9.5
引合い	▲ 40.6	▲ 21.2	▲ 18.9	▲ 5.3	▲ 17.4	▲ 12.9	▲ 4.7	▲ 3.8	▲ 20.0	▲ 10.1	▲ 14.3	▲ 15.2	▲ 23.5	▲ 18.7	▲ 11.9	▲ 9.6	▲ 17.1	▲ 6.2

【在庫数量】	今期: ▲3.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲8.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲13.6とマイナス幅がやや拡大した。	来期: ▲9.5とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲17.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲6.2とマイナス幅が縮小する見通し。

## 【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)

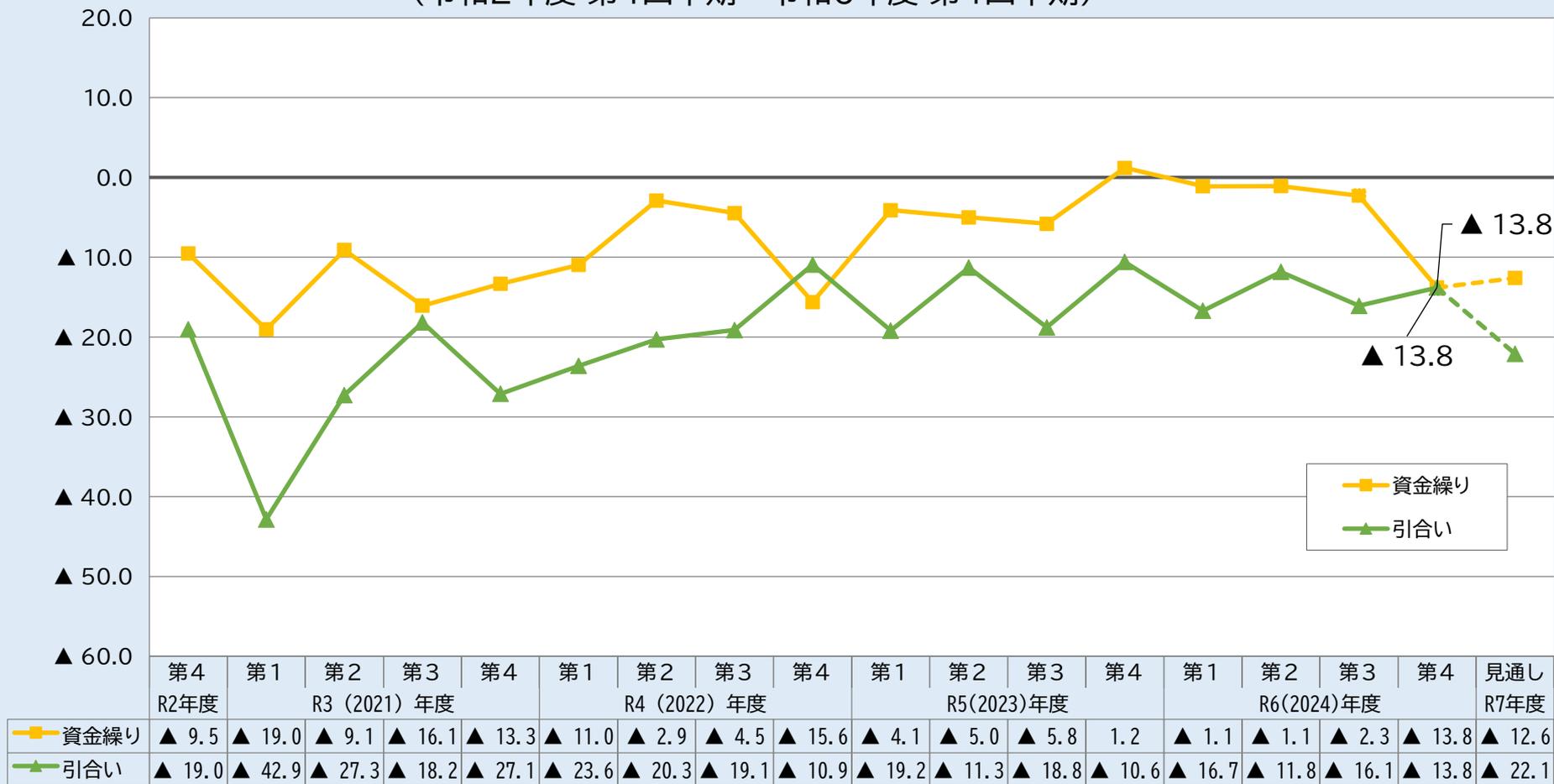


	第4 R2年度	第1 R3 (2021) 年度	第2	第3	第4	第1 R4 (2022) 年度	第2	第3	第4	第1 R5 (2023) 年度	第2	第3	第4	第1 R6 (2024) 年度	第2	第3	第4	見通し R7年度
業況	▲33.3	▲52.4	▲20.8	▲22.0	▲27.7	▲21.9	▲24.6	▲18.8	▲15.6	▲11.0	▲6.3	▲15.9	▲8.2	▲12.2	▲5.4	▲11.5	▲9.2	▲22.1
売上	▲27.3	▲36.4	▲27.1	▲33.3	▲32.3	▲21.9	▲20.3	▲25.7	▲12.5	▲19.2	▲15.0	▲13.0	▲12.9	▲13.3	▲3.3	▲6.9	▲19.5	▲29.1
経常利益	▲23.8	▲47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	▲4.3	12.5	16.4	19.0	14.5	23.8	12.2	21.7	17.2	22.1	7.0

【業況】	今期: ▲9.2とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲22.1とマイナス幅が大幅に拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲19.5とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲29.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +22.1とプラス幅が拡大した。	来期: +7.0とプラス幅が大幅に縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

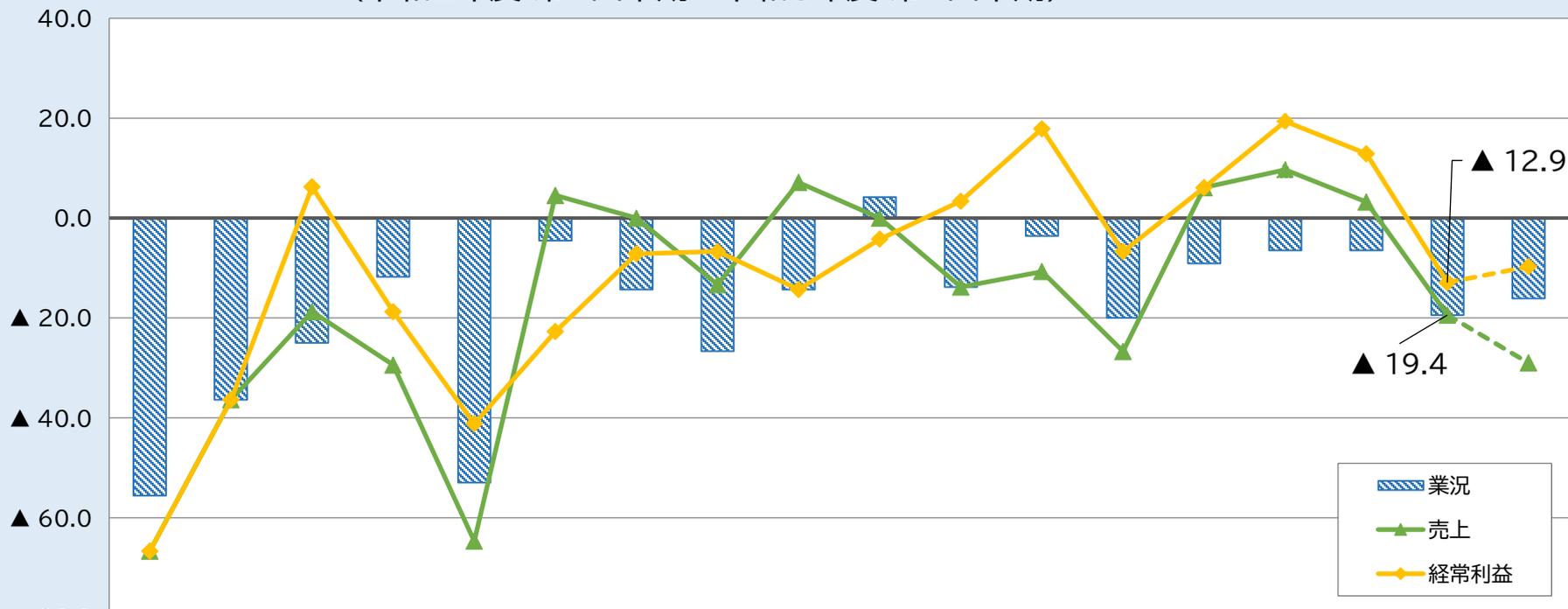
## 【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)



【資金繰り】	今期: ▲13.8とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲12.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲13.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲22.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)

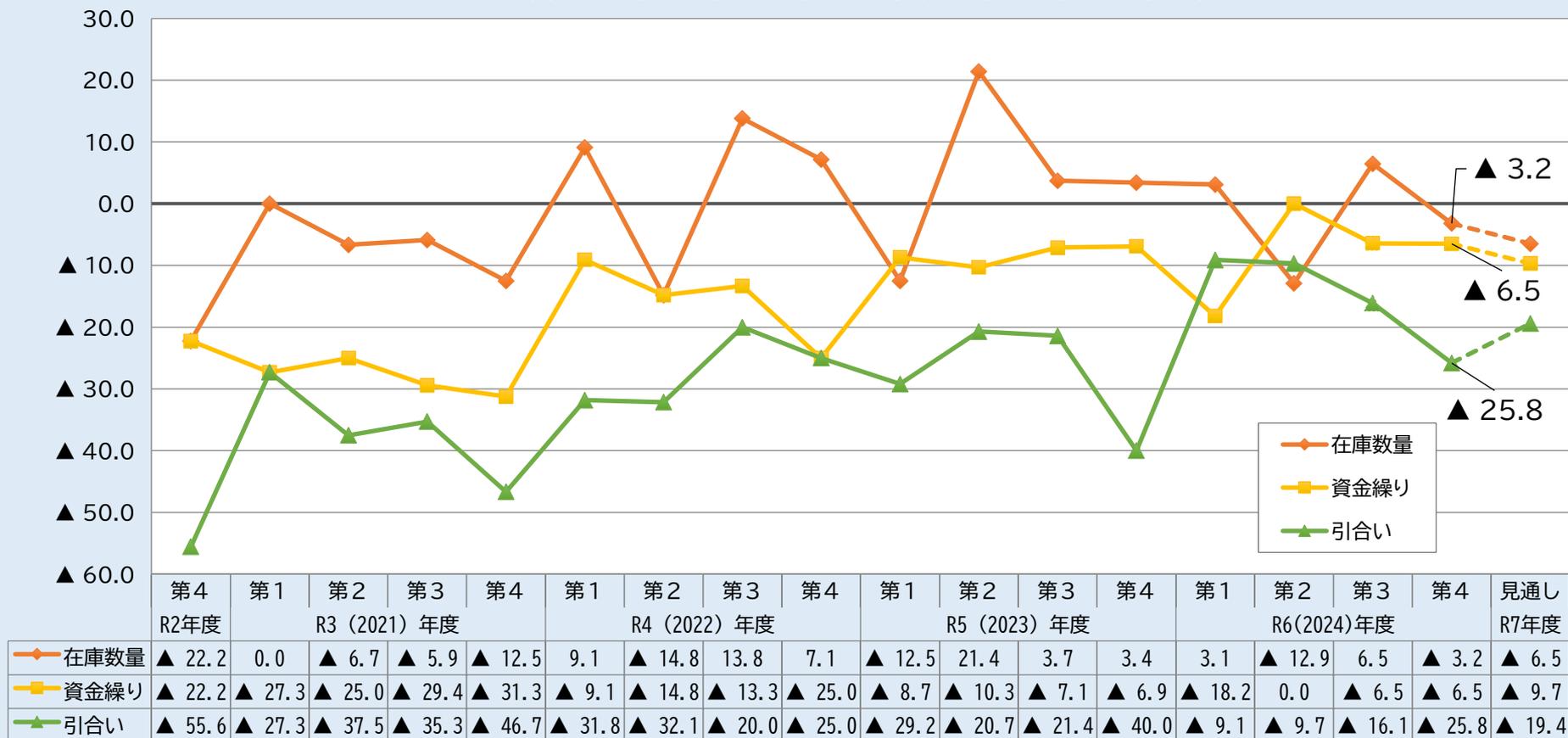


	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	見通し
	R2年度	R3 (2021) 年度				R4 (2022) 年度				R5 (2023) 年度				R6(2024)年度				R7年度
業況	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 14.3	4.2	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 19.4	▲ 16.1
売上	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	0.0	▲ 13.3	7.1	0.0	▲ 13.8	▲ 10.7	▲ 26.7	6.1	9.7	3.2	▲ 19.4	▲ 29.0
経常利益	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 7.1	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 4.2	3.4	17.9	▲ 6.7	6.1	19.4	12.9	▲ 12.9	▲ 9.7

【業況】	今期: ▲19.4とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲16.1とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲19.4とマイナスに転じた。	来期: ▲29.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: ▲12.9とマイナスに転じた。	来期: ▲9.7とマイナス幅が縮小する見通し。

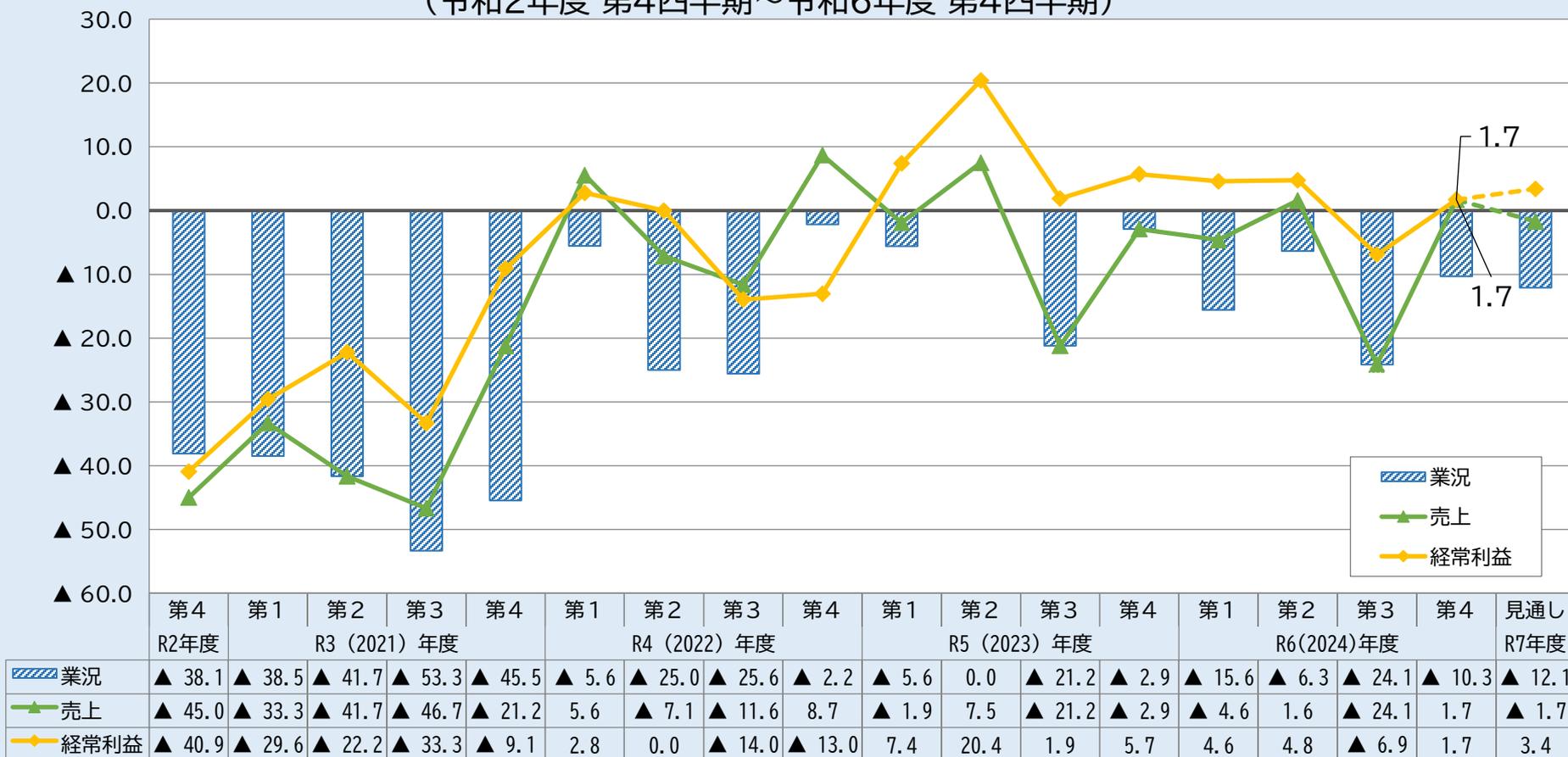
1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)



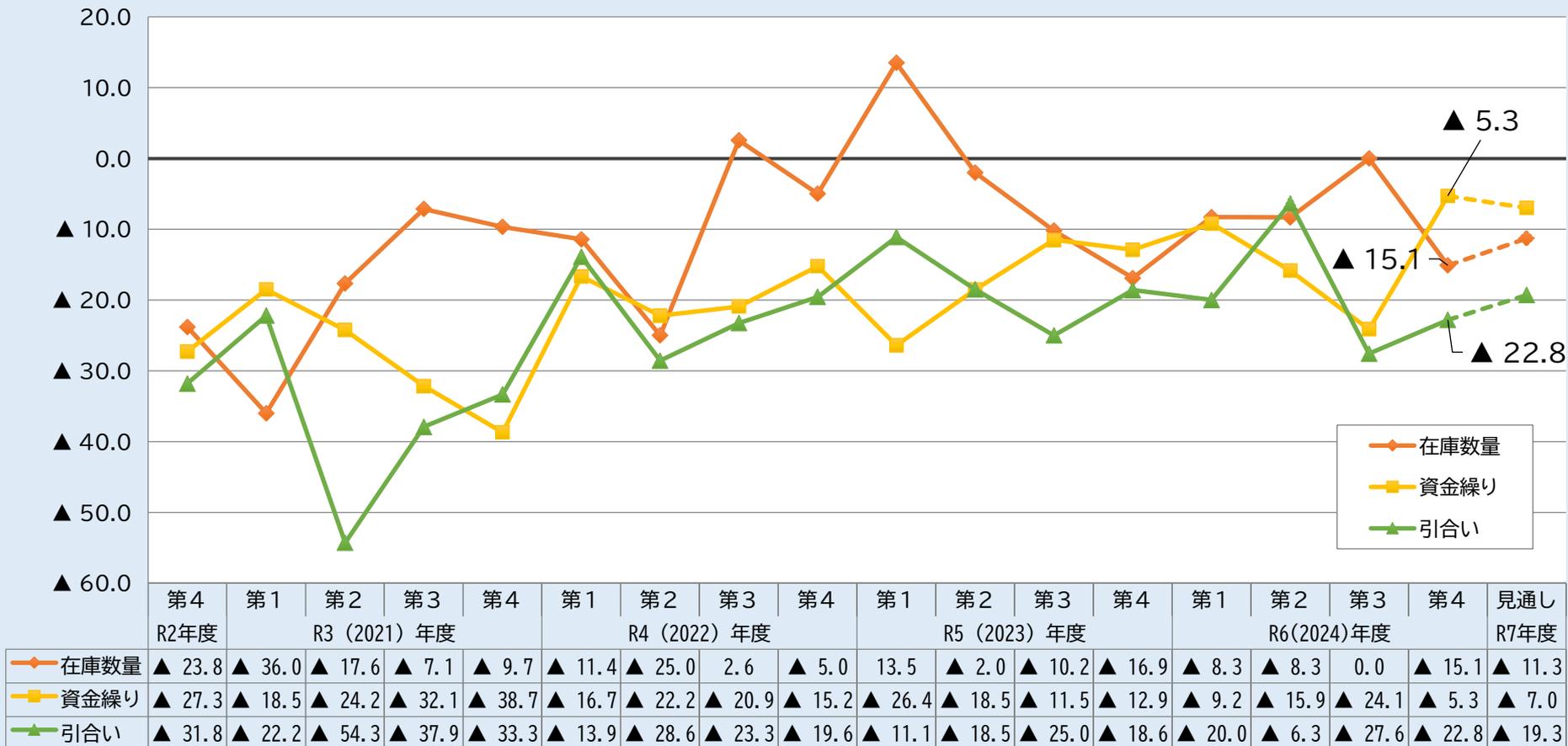
【在庫数量】	今期: ▲3.2とマイナスに転じた。	来期: ▲6.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲6.5と同水準で推移した。	来期: ▲9.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲25.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲19.4とマイナス幅が縮小する見通し。

## 【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



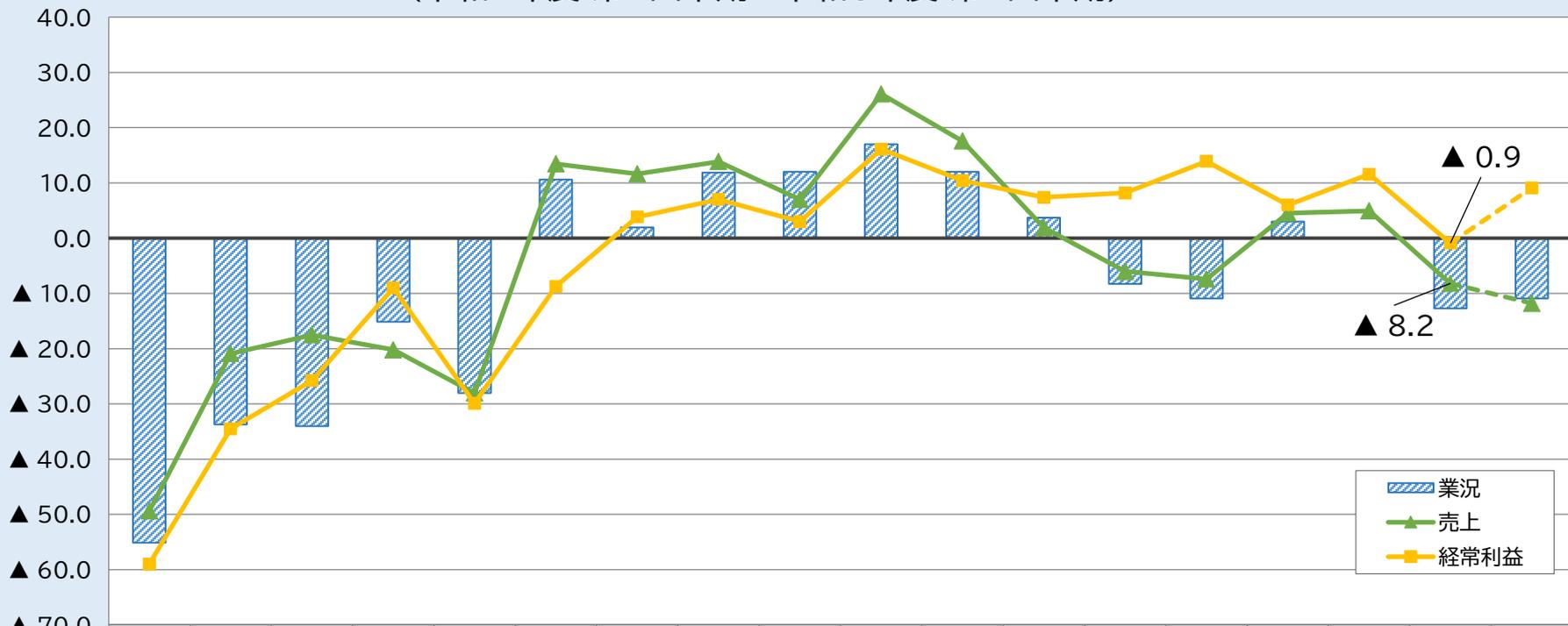
【業況】	今期: ▲10.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期: ▲12.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +1.7とプラスに転じた。	来期: ▲1.7とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +1.7とプラスに転じた。	来期: +3.4とプラス幅が拡大する見通し。

## 【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)



【在庫数量】	今期: ▲15.1とマイナスに転じた。	来期: ▲11.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲5.3とマイナス幅が大幅に縮小した。	来期: ▲7.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲22.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲19.3とマイナス幅が縮小する見通し。

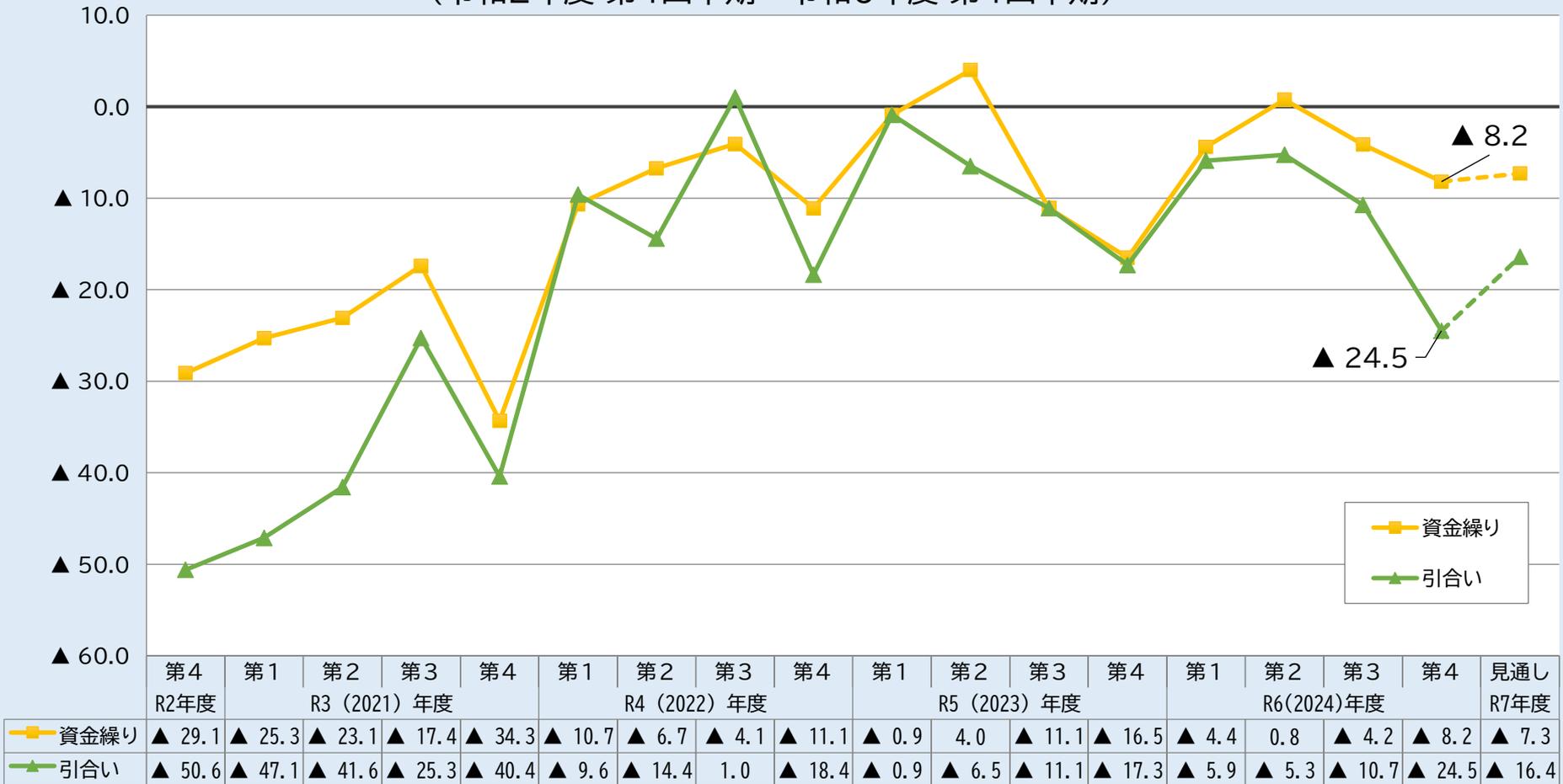
## 【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (令和2年度 第4四半期～令和6年度 第4四半期)



	第4 R2年度	第1 R3 (2021) 年度	第2	第3	第4	第1 R4 (2022) 年度	第2	第3	第4	第1 R5 (2023) 年度	第2	第3	第4	第1 R6 (2024) 年度	第2	第3	第4	見通し R7年度
業況	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	11.9	12.0	17.0	12.0	3.7	▲ 8.3	▲ 10.9	3.0	0.0	▲ 12.7	▲ 10.9
売上	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	13.9	7.0	26.1	17.6	1.9	▲ 6.0	▲ 7.4	4.5	5.0	▲ 8.2	▲ 11.8
経常利益	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	7.0	3.0	16.1	10.4	7.4	8.2	13.9	6.0	11.6	▲ 0.9	9.1

【業況】	今期: ▲12.7とマイナスに転じた。	来期: ▲10.9とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲8.2とマイナスに転じた。	来期: ▲11.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: ▲0.9とマイナスに転じた。	来期: +9.1とプラスに転じる見通し。

## 【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (令和2年度第4四半期～令和6年度第4四半期)



【資金繰り】	今期: ▲8.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲7.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲24.5とマイナス幅が大幅に拡大した。	来期: ▲16.4とマイナス幅が縮小する見通し。

# 景況調査結果報告書(令和6年度第4四半期)



## 1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	国スポ・障スポ前イベントや周辺企業の設備投資・増築等の影響で回復予定。	サービス業
	選挙、イベント等リース向けの商品の注文が多く入った。	製造業
	去年は車の認証不正問題の影響を受けたが、今期はその影響がほぼ消失した。	卸売業
	近隣に会員制ホテルがオープンして来客数が増えている。	小売業
	輸入商材の取り扱い部門について、トランプ大統領就任後の為替変動について注視している。販売の物量は確保できているが、円安による仕入コスト増加を危惧している。	卸売業
	値上げラッシュにより購入単価が上昇しているが、購入点数は減少している。	小売業
不変	労働時間削減のため、稼働時間が減少し、それに伴い売上高も減少予想。人材不足で業務に支障が出てきている。	建設業
	米・野菜の価格高騰で、かなり辛い。ガソリンの値上がりもあり、良くなるとは思えない。	サービス業
	原材料の値上がりを商品代金に上乗せできない。	小売業
悪化	工事受注の機会はあるものの、職員・作業員の不足で受注に至らず売上の増額が見込めない。	建設業
	受注先の海外販売減少に伴い、受注減少。特に中国向けが良くない。	製造業
	医薬品の流通が悪く、患者離れも改善が難しい。人材確保のために過剰な人件費がかかり、経営悪化している。	小売業
	ここ数年の資材高騰に市場が反発しており、個人の消費意欲にマイナスの影響が出ている。今後もしばらく続くと予測している。	卸売業
	値上げによる売上増加はあるが回復には至らず、今後定期的な値上げは厳しい。決算は良好だが人件費削減によるところも大きく、この先は業績維持が難しい見通し。	製造業
	従業員数は足りているが高齢化している。若い人材が確保できない。	サービス業

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

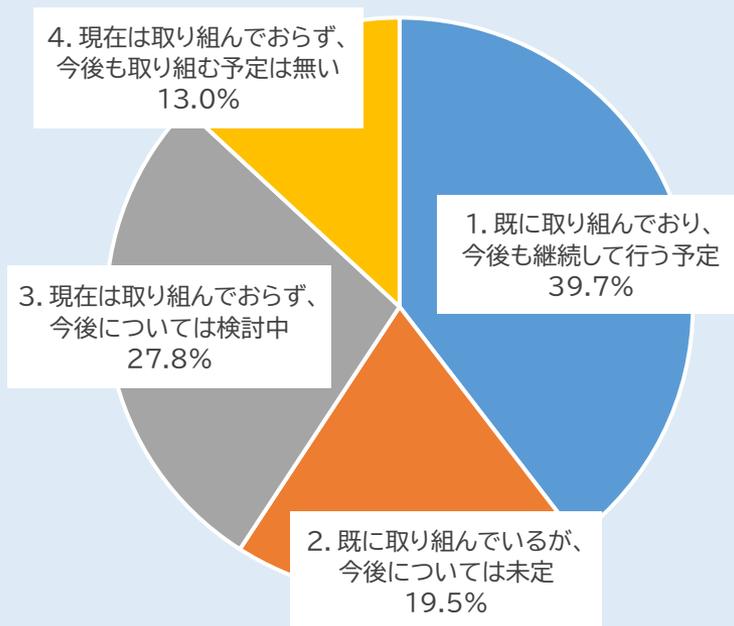
## 【追加設問 1】

DX（デジタルトランスフォーメーション）  
推進に向けた取組について

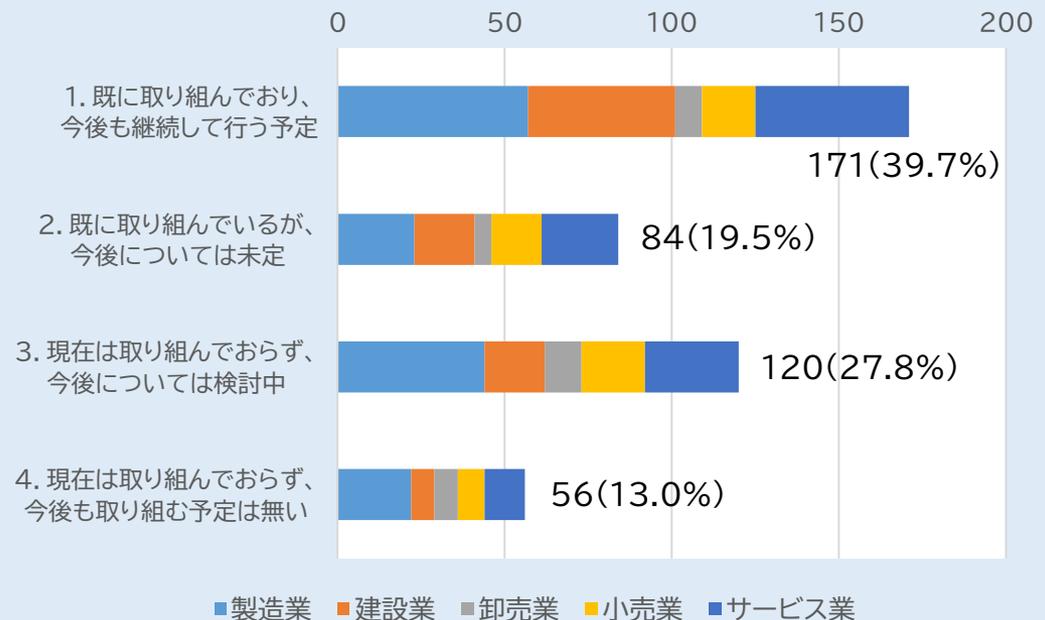
## DX推進に向けた取組の実施状況

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に向けた取組の実施状況を尋ねたところ、「既に取り組んでいる」事業者は59.2%と、全体の約6割であった。
- 「既に取り組んでおり、今後も継続して行う予定」である事業者の割合は39.7%であった。

DX推進に向けた取組の実施状況



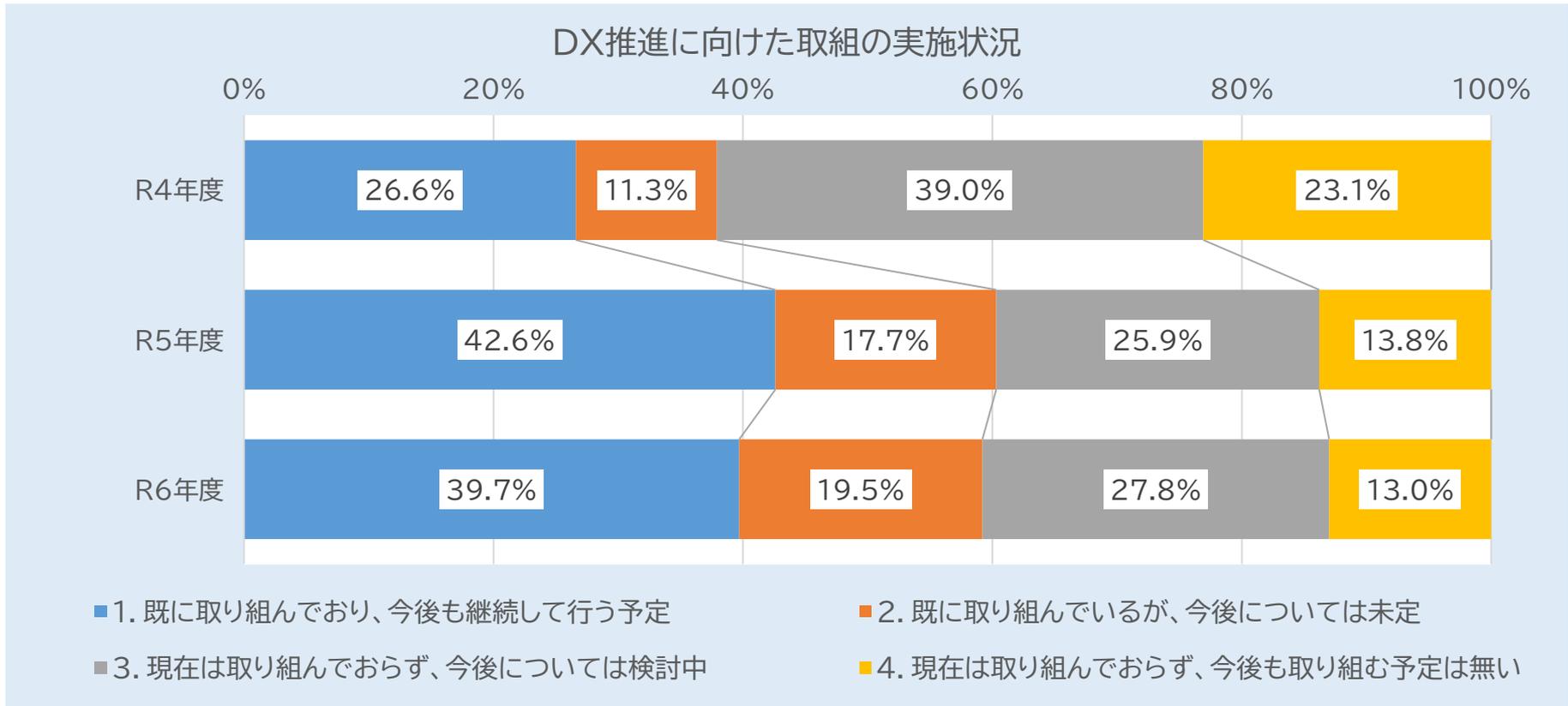
DX推進に向けた取組の実施状況  
(1つ選択、回答数:431)



※本調査ではDX(デジタルトランスフォーメーション)を、「ITやデータの活用によって製品・サービス・ビジネスモデルを変革し、競争力を高めていくこと」としている。

## DX推進に向けた取組の実施状況

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に向けた取組の実施状況について、R4年度からR6年度までの推移を比較したところ、「既に取り組んでいる」の割合は、R4年度からR5年度にかけて大幅に増加し、R5年度からR6年度にかけてやや減少した。
- また、「現在は取り組んでおらず、今後も取り組む予定は無い」の割合が減少した。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## DX推進に向けた取組の実施状況

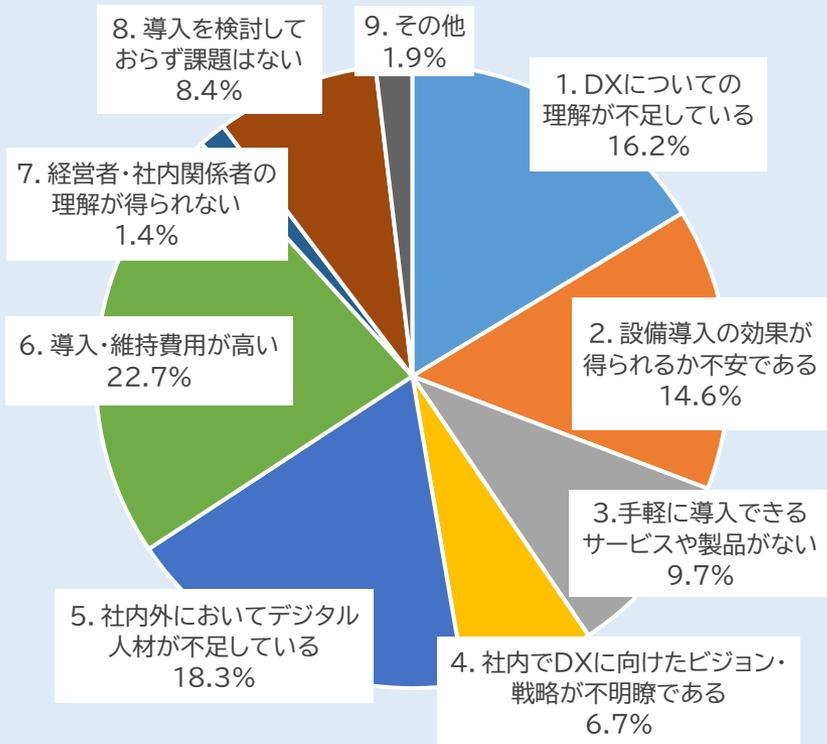
- DX推進に向けた取組を実施している事業者には、現在の取組内容と今後の取組予定を尋ねたところ、下記の表の回答が得られた。

業種	現在の取組	今後の予定
製造業	オンライン会議、給与明細のオンライン化、インターネットバンキングの活用	自社システムのクラウド化、RPA・AI・ノーコードの開発
製造業	RPAを利活用し、業務改善できる人材の育成	契約書内容のAIレビューを行うSaaSの検討
建設業	設計業務におけるBIMの推進	帳票等の統一
建設業	勤怠管理システムの導入	経費精算のクラウド化、請求書・写真管理のクラウド化
卸売業	販売分析ツールの活用	取引内容のデータ化
小売業	顧客管理システムの導入、予約システムの導入	電子契約書の導入、労務管理システムの導入
小売業	社内コミュニケーションのデジタル化	書類の電子署名化およびペーパーレス化
サービス業	クラウド予約システムの導入、 客室飲料セルフオーダーシステムの導入	勤怠管理システムの導入
サービス業	注文書・請求書の電子化、キャッシュレス決済の導入	セルフ精算機の導入

## DX推進に向けた取組における課題

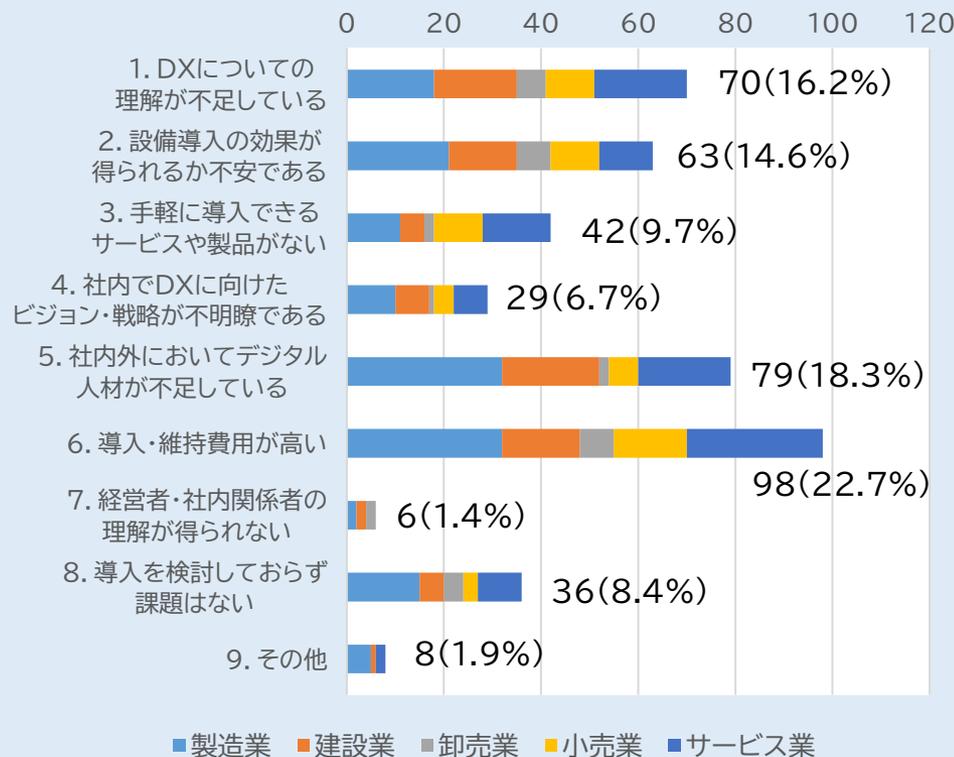
- DX推進に向けた取組を実施する際に直面した課題や、想定される課題について尋ねたところ、「導入・維持費用が高い」の割合が最も多く、次いで「社内外においてデジタル人材が不足している」の割合が多かった。

DX推進に向けた取組における課題



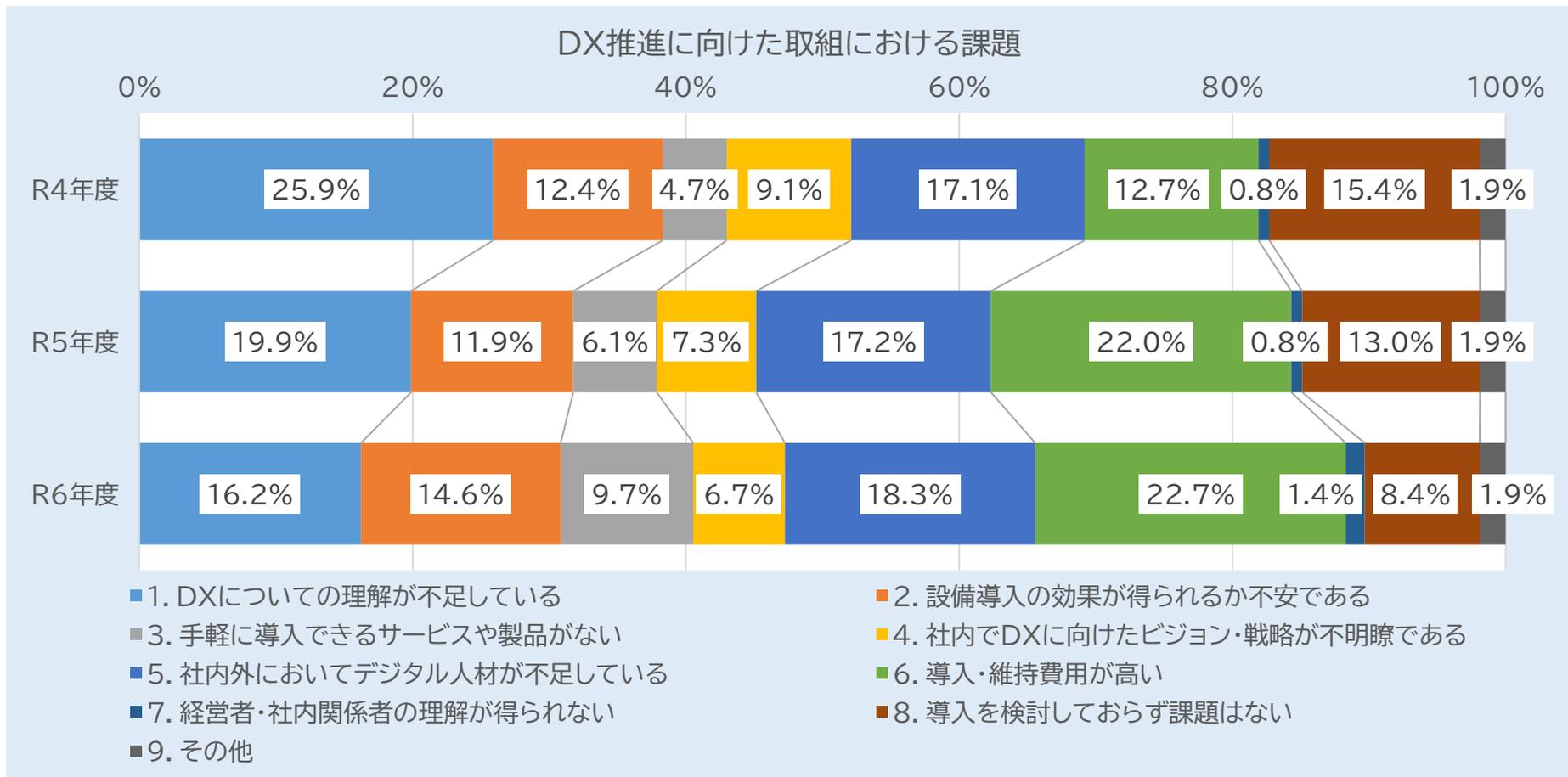
DX推進に向けた取組における課題

(1つ選択、回答数:431)



## DX推進に向けた取組における課題

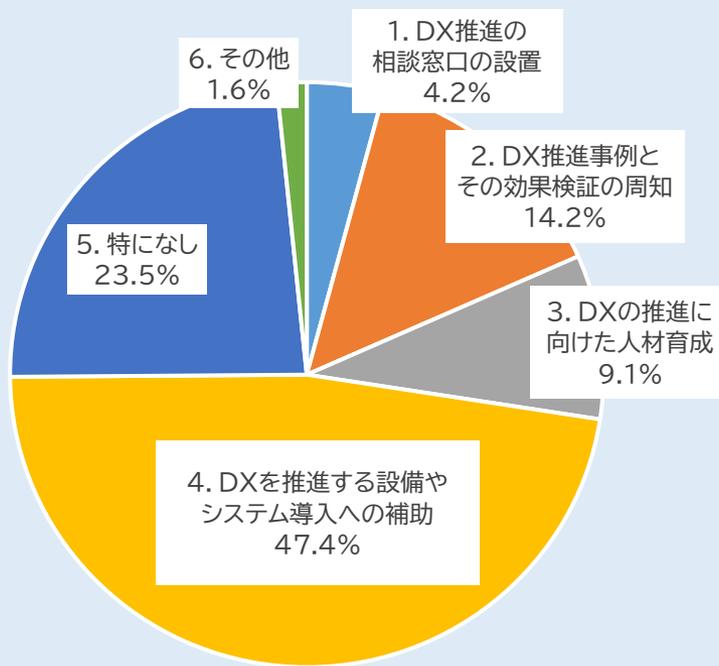
- DX推進に向けた取組を実施する際に直面した課題や、想定される課題について、R4年度からR6年度までの推移を比較したところ、「導入・維持費用が高い」の割合が増加した。一方、「DXについての理解が不足している」の割合は減少した。



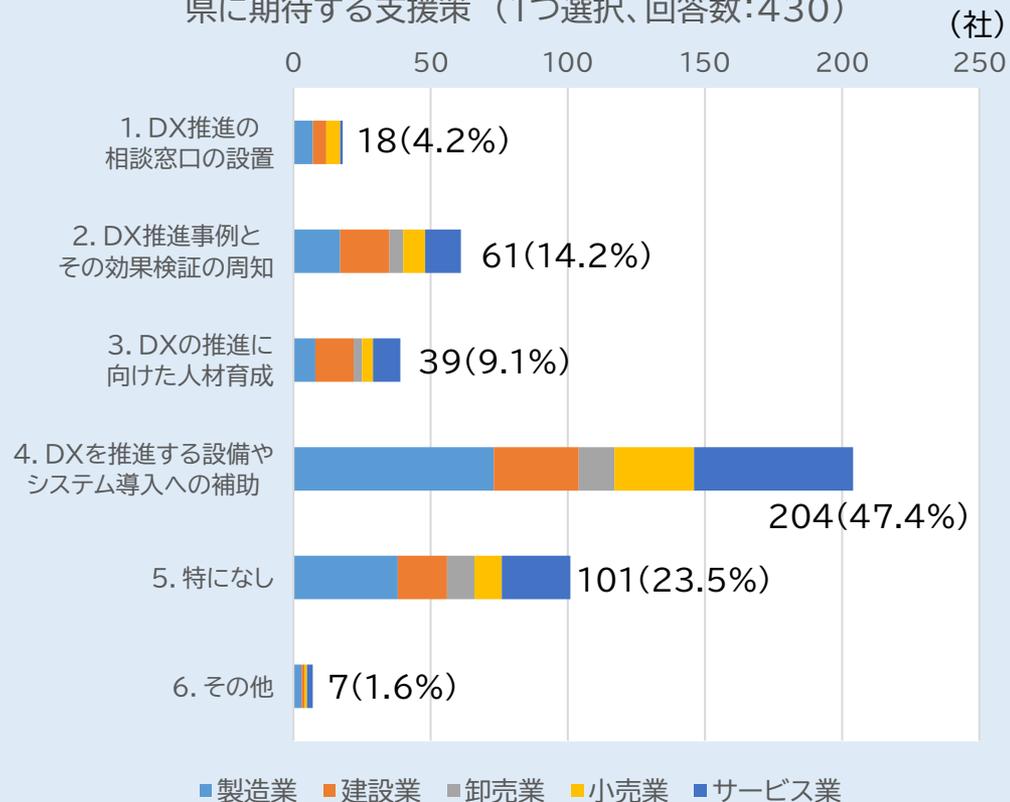
## DX推進に向けた取組で期待する支援策

- DX推進に向けた取組を実施するにあたり、県に期待する支援策について尋ねたところ、「DXを推進する設備やシステム導入への補助」が最も多かった。

県に期待する支援策



県に期待する支援策 (1つ選択、回答数:430)



## DX推進に向けた取組で期待する支援策

- DX推進に向けた取組を実施するにあたり、県に期待する支援策について、R4年度からR6年度までの推移を比較したところ、「DXを推進する設備やシステム導入への補助」の割合が増加傾向にある。一方、「DX推進の相談窓口の設置」の割合は減少した。

